

宮城県 大崎市（森林経営管理制度に基づく意向調査の実施）

- ▶ 大崎市では、市内の森林を適切に管理していくため、森林環境譲与税を財源とした森林経営管理制度に基づき、市内に森林を有する森林所有者の意向を確認し、森林整備を推進。
- ▶ 令和元年度においては、過去に大雨による洪水被害があった上流に位置する鳴子温泉中山地区において、以下の取組により、私有林人工林79.56haの意向調査に取り組み、森林の現状を調査し、森林整備箇所を把握することが出来、その内容を森林所有者に説明し、経営管理権集積計画の作成を行った。

□ 事業内容

1 森林所有者への説明会の開催

- 地元森林組合と連携し、森林所有者である組合員を対象に、市内3地区で新たな森林経営管理制度の説明会を開催。

【実績】開催日：11月18日(月)
11月21日(木)

場 所：松山地区、岩出山地区
鳴子地区

参加者：67人（延べ人数）



（事業1：説明会の様子）

2 森林所有者への意向調査の実施

- 鳴子温泉地域の私有林人工林79.56ha（71筆、22人分）の森林所有者に対し、今後の森林の経営管理の意向を調査。

【事業費】3,198千円（全額譲与税）

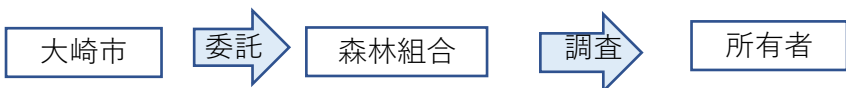
【実績】意向調査面積 79.56ha



（事業2：森林現況調査の様子）

□ 事業スキーム

- 森林所有者への意向調査の実施



意向調査内訳（別表）	所有者数（人）	筆数（筆）	面積（ha）
回答有り面積等	22	71	79.56
経営管理権集積計画作成意向有り面積等	12	32	27.79
所有者自ら経営管理を行う意向有り面積等	9	37	51.14

□ 工夫・留意した点

- 事業内容1は、地元森林組合と連携することにより、管内の森林所有者に広く森林経営管理制度を周知することが出来た。
- 事業内容2は、森林整備を優先して実施する必要がある地域として、過去に洪水被害のあった上流部に位置する地域から試行的に行い、令和2年度以降に実施する経営管理権集積計画による森林整備を着実に進めるための準備をすることができた。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	26013千円
②私有林人工林面積（※1）	10772ha
③林野率（※2）	53%
④人口（※3）	133391人
⑤林業就業者数（※4）	175人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より